

シンガポール研修 1 日目 8 月 10 日 (木)

研修プログラム

内容・詳細・感想

<p>@Japan</p> <p>~8:00 関西空港集合 (4F.第一ターミナル) パスポート、荷物など確認 集合写真撮影 手続き終了後、搭乗まで待機(空港内散策) 数十分前には飛行機搭乗</p> <p>10:55 関西空港出発 シンガポールへ!</p> <p>機内昼食</p> <p>@Singapore</p> <p>16:40 シンガポール到着 入国手続き 終了後集合 バディと対面 解散</p>	<p>関西空港がとても広くて驚いた。 全員で集まって、これから出発するんだと緊張しつつみんなで話をした。 手続きなどがだった。</p> <p>飛行機のアナウンスが英語メインで、crewの方が英語圏の方もいた。当然だが日本人より外国人の方が多かった。飛行機の浮遊感が少し怖かった。機内食が想像より美味しかった。</p> <p>チャンギ空港に着いた。表記が英語だらけで新鮮だった。緑が多いなと思った。関西空港より広くて驚いた。出口で集合すると向こう側にバディが来ていた。わくわくと緊張が織り混ざった。 各自合流後解散。</p> <p>バディと合流し、そのまま車で家に行った。</p>
--	---



一日の感想

激動の一日だった。あまり外に行かないので、空港に行ったりといった経験はとても良かった。飛行機(ジェットコースター)慣れにも一役買ってくれたと思う。海外の雰囲気は初めて感じた。すごかった。上陸前の、ゆっくり落ち着いて話せば大丈夫、という先生の助言がありがたかった。

バディと合流した後は、展開がとても早かった。少しずつでも話さなきゃ、と思いつつやはり英語が速いと緊張でまともに話せなかった。バディの父親に車で家に連れて行ってもらった。道が緑で溢れていて、新鮮だった。街並みは結構発展しているなと思った。工事中的場所も多かった。家が本当に大きな一戸建てだった。家に着いてからもしばらくは英語がぎこちなかったと思う。バディや家族、お手伝いさんが優しく対応してくれてとても助かった。卓球やビリヤードで遊んで緊張を和らげさせてくれた。夜ご飯のチキンライスが美味しかった。バディと化学や共通のゲームなどの話をできた。楽しかった。明日からが楽しみになった。よく寝た。

シンガポール研修 2 日目 8 月 11 日 (木)

研修プログラム

内容・詳細・感想

7:40 学校に集合	バスが来るまでバディたちが学校案内をしてくれた。
8:10 アセンブリーに参加	ラッフルズのアセンブリーにて日本からの留学生として紹介された。
9:00~12:00 NTU で授業、実験	大学で先生やバディに助けられながら科学の実験を行った。
13:00 昼食	フードコートでチキンライスを食べた。
14:00~16:00 歴史博物館	博物館でシンガポールの動植物の知識を得た。
16:30~18:30 Marina Barrage Visitor Centre	マリーナバイサンズを見たり、ダム施設に行ったりした。
19:00~19:30 Satay by the bay にて夕食	サテーなどのシンガポール食を食べた。
19:40~21:30 シンガポールの夜を観光	スーパーツリーのショーやマーライオン、マリーナバイサンズのライトアップを見たりした。

一日の感想

今こうして振り返ってみても、2 日目が一番忙しかった日だと思います。朝から大学で実験をし、午後はひたすらシンガポールの主要な観光地を訪れました。マリーナバイサンズ、マーライオン、スーパーツリーなどを早速目にすることができ、とても嬉しかったです。特にマリーナバイサンズを含めたシンガポールのビル群の光景は、夜だったこともあり圧巻でした。

Satay by the bay はとても雰囲気が良く、サテー屋さんをはじめとした様々な店がありました。そこで初めて、食を通してシンガポールを感じることができました。

1 日中一緒に行動していたのでこの 2 日目でバディとの距離が近づいたと思います。7 日の中で一番内容が濃く、刺激的な 1 日でした



シンガポール研修 3 日目 8 月 12 日 (木)

研修プログラム

内容・詳細・感想

終日、自由行動 (午前) MacRitchie Reservoir Park 散策	今日は自由行動 1 日目 貯水池に沿って作られた自然保護区の公園を歩いた。熱帯の自然がほぼそのままの状態に残されていて、ヤシの木や猿など、日本にはない植生や動物を見ることができた。散策路は木の道で整備されていて、歩きやすく高低差も小さかった。シンガポールの大切な水源である貯水池
MacRitchie Reservoir	ジャングルの中につられた、見晴らしの塔
Jelutong Tower	散策の拠点で、トイレや水場が設置されている
Ranger station	木の頂上と同じ高さに作られた空中遊歩道
TreeTop walk	これらを通って歩いた。
(昼食) 中華料理店	10 人くらいで中華料理店に行き、何枚かの大皿の料理をみんなで分けた。
(午後) バラナカン博物館	東南アジア各地からシンガポールに移住してきた人々の歴史や生活文化を、実際の生活用品とともに紹介。大きくて綺麗な図書館。
国立図書館 (夕食) ホーカーセンター (帰宅)	少し辛い麺料理を食べた。



一日の感想

午前は MacRitchie Reservoir Park という、貯水池沿いの自然保護区を歩いた。シンガポールは近未来的で人種多様な巨大都市という印象が強かったので、熱帯気候のジャングルがそのままの形で残されていることに驚いた。熱帯ならではの植生を、整備された遊歩道から楽しむことができた。午後はバラナカン博物館を見学した。バラナカンとは「出身の」という意味のマレー語で、アジア各地からシンガポールに移住してきた人々のことを指す。彼らの歴史や生活の文化を、実際に彼らが使っていた日用品（食器、絵、家具、服、宝飾、靴など）とともに展示していた。生活感あふれる品々と、華やかな異文化の雰囲気を楽しめた。その後国立博物館に行き、英語の本を読んだ。綺麗なビルの上層階に設置されていて、さまざまな分野にまたがる豊富な蔵書を持つ大きな図書館だった。この博物館や図書館があるエリアはシンガポールの旧都心であり、各国大使館やイギリス統治時代の建物など、歴史を感じさせる古い建物が多く残っていた。

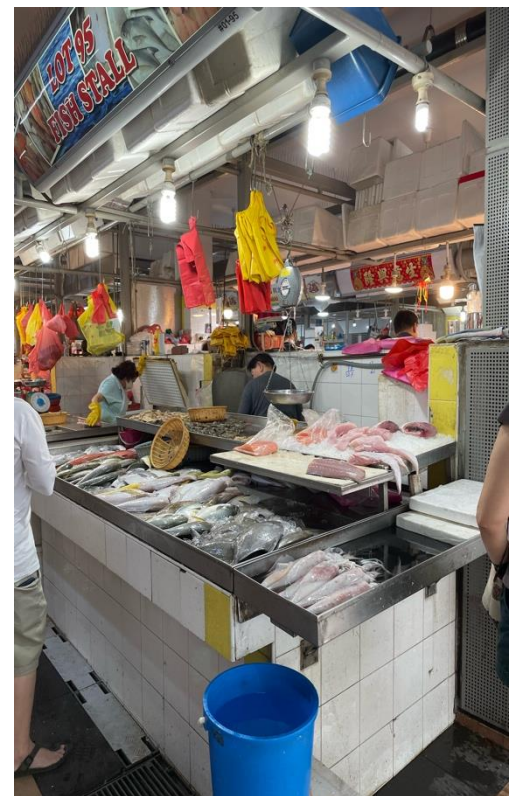


シンガポール研修 4 日目 8 月 13 日 (木)

研修プログラム

内容・詳細・感想

8:30 市場に行ってカニを買う 朝食	新鮮な魚や貝がずらりと並ぶ市場に行って、夜ご飯のためにカニを買いに行った。
10:00~12:00 Singapore Discovery Centre に行く。	シンガポールの歴史を学んだ。今のシンガポールにある多様性がどのように形作られたのかを学んだ。
12:00~13:00 昼食	とても辛かった。
14:00~16:00 Singapore Science Centre に行く。	とても広くて 2 時間ではまわりきれなかった。サイエンスショーも見れて、楽しかった。
18:00~19:00 夕食	チリクラブというカニの料理を振る舞ってもらった。僕は辛いものが苦手なので、甘い味付けにしてくれた。とてもおいしかった。



一日の感想

朝は、夜ご飯に使うカニを買いに市場に行き、近くのレストランで朝食をとった。近くのテーブルのおじいさんが話しかけてきて、バディと 3 人で色々な話をした。見知らぬ人と外で話して仲良くなるのは、日本ではできない経験だなと思った。その後は、シンガポールディスカバリーセンターというところに行った。そこではシンガポールの歴史を学ぶことができ、今のシンガポールの多様性がどのように形作られてきたかを学ぶことができた。印象に残っているのは、お土産屋さんでの出来事である。ある店員さんが私たちに話しかけてきてくれて、日本から来たということを説明すると、とても歓迎され記念のバッジまでくれた。シンガポールの人の温かみを感じた体験だった。午後は、シンガポールサイエンスセンターにいった。とても広い科学館で、全てを見て回ることができなかった。鏡だらけの迷路に入ったり、サイエンスショーを見たりした。とても楽しかった。夜ご飯は家でチリクラブというカニ料理を振る舞ってもらった。それはそれはとても美味しかった



シンガポール研修 5 日目 8 月 14 日 (木)

研修プログラム

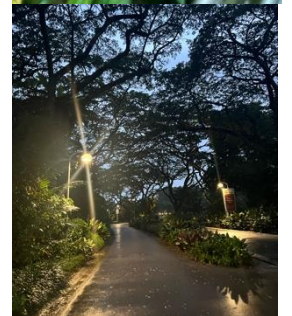
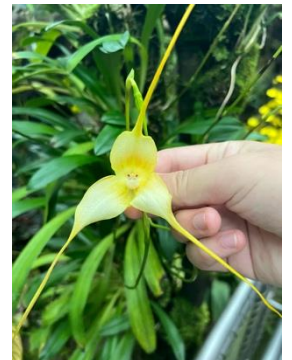
内容・詳細・感想

<p>8:00 対面式</p>	<p>全校生徒の前でリーダーがあいさつをした。神戸高校のアセンブリーと似ていた。</p>
<p>8:30～10:30 オリエンテーション</p>	<p>心理学について学んだ。ホールのようなところで学年全体で講義を聞いた。</p>
<p>昼食</p>	<p>学校の食堂で食べた。様々な国の料理があった。その後バディの子に学校を案内してもらった。</p>
<p>14:00～16:00 ボタニックガーデン見学</p>	<p>歴史博物館などに行く予定だったがガイドの方が忘れていてキャンセルに。各自自由時間を過ごしたのち、植物園へ行った。シンガポールのナショナルフラワーである orchid を見た。</p>
<p>16:00～ バディの自宅へ</p>	<p>夕食を食べた後、バディの自宅近くの大きな池で散歩した。バディの友達にも合せて、プレゼンのことを始め、沢山お喋りした。</p>



一日の感想

朝、対面式があった。RIの生徒たちは校旗掲揚を行ったり、シンガポールの国歌を歌ったり、国民の誓いを唱えるなど、RIの生徒、シンガポールの国民、としての意識の強さを感じた。その後受けた講義では、大勢人がいる中でも積極的に自分の意見を言う人が多く圧倒された。また、思っていたより校則が厳しく、服装や髪型を注意されている人もいて驚いた。私はお昼に学校の食堂でシンガポールのソウルフードであるチキンライスを食べた。とても美味しかった。他にも、様々な国の料理があった。午後は歴史博物館に行く予定だったがまさかのガイドの方が忘れていてキャンセルに、、(笑)急遽少し時間ができたので近くのショッピングセンターへ数人で行った。日本料理屋が沢山あって驚いた。その後、植物園に行き、シンガポールのナショナルフラワーである様々な蘭を見た。その際にバディの子たちに蘭や植物などについて教えてもらった。全体を通して、RIの子達はみんな何事にも興味津々で積極的に先生方に質問しており、凄いなと思った。



シンガポール研修 6 日目 8 月 15 日 (火)

研修プログラム

内容・詳細・感想

7:40 集合	
午前中 サイエンスワークショップ	疎水性のあるロウを用いた絵を描いた。みんな独創的でとても面白かった。
昼食	食堂につれていってもらった。とてもおいしかった。
午後 学校内のミュージアム見学	バディ達が案内してくれた。学校の歴史が知れて面白かった。
神戸高校の生徒の科学プレゼンテーション	。。。という出来だった。
16:00 解散	



一日の感想

今日は午前中はラボで作品を作り、午後はずいぶんポスタープレゼンの日だった。ラボでは自然にお互いを助け合うバディ達が格好良かった。またこの作品の独創性も面白かった。

午後のプレゼンでは内容が甘い人もいた。私はデータがわかりにくかった。それは全て、口にこそ出さなかったけれど RI の人はわかっていた。それはプレゼン後のミーティングでみんなタイトルの多様性についてしか言及しなかったことにあらわれていたのではないと思う。

でもプレゼン後にアドバイスを求めたら丁寧に返してくれたので、RI のレベルに達していないから萎縮するのではなく、少しでも追いつこうとする姿勢が大切だと思った。それを見せたら少なくとも関わってよかったと思ってもらえるのではないかと感じた。設備的なものは神戸高校の方が足りなくて今改革しているけれど、多分それより、生徒の改革が先だ。私たちにこの神戸高校はかかっている。今日は少しだけ自分たちが情けない。

上：食堂での昼食

下：お家での夕食 ナシ ラマ

シンガポール研修 7 日目 8 月 16 日 (水)

研修プログラム

内容・詳細・感想

7:40 RI 集合	朝礼を後ろで見学した。ナショナルプレッジを声に出す姿が壮観。
8:00 シティツアー ・カンボングラム ・リトルインディア ・チャイナタウン ・シンガポールシティギャラリー	バスで出発。ガイドの Mr. Tang の説明がとても詳しい。シンガポールならではの街の多様さを実感した。
13:30 食堂で昼食	
14:15 シンガポールについての授業	地理や社会の話聞いたが、日本とは価値観がかなり違っていておもしろかった。
15:50 全校集会	
18:30 RI の生徒、先生と夕食	伝統的な料理を体験した。ほぼ辛い味付けのものしかなく、驚く。
夕食後、東南アジアの伝統の遊びをする	羽根のついた錘のようなものを蹴り上げる遊び。蹴鞠に似ていて楽しかった。
22:00 空港到着	RI の生徒と挨拶をして別れる。お土産を買う。



一日の感想

シンガポールで過ごす最後の日。シティツアーでは、シンガポールに多様な文化が共存していることが面白かった。スクールの際に雨をやり過ごせるよう、多くの家に軒が付いていると聞き、日本にはない考え方に驚いた。リトルインディアの果物屋でココナツを買い、その場でストローでジュースを飲めたのが新鮮だった。

全校集会では、最後に全生徒が揃って足を踏み鳴らし手で体を叩き、声を出すシーンがあった。とても迫力があり、同時に自分たちの学校を誇りに思っていることが伝わってきて良かった。

バディは空港までついてきてくれて、空港内を案内してくれたりもした。空港で挨拶をした際、シンガポールから帰りたくないと思った。最初に会った時と比べるとずっとバディと仲良くなったのだと実感できた。

